



令和4年11月【51号】

高齢者の身近な相談窓口 地域包括支援センター朝光苑
朝霞市青葉台 1-10-32 / ☎ 048-450-0855

読者の窓／上島さん作
娘の洋服



朝霞膝折団地自治会長に インタビュー

長く住んでもらえる団地づくりを目指して



くらばやし たけよし
倉林 竹好さん

自治会長としての思い

団地に越してきて40年。第2団地が完成した頃でした。当時は仕事を夢中でやっていて、団地のことは全然。自治会長になって10年目。結構長くなっちゃいました。人間、年を取ると心細くなる。それで引っ越してくることは勇気がいること。そのためにはなにかやらなくちゃいけない、そんな思いで何かやろうと。元イベント関係の仕事をしていたので、よさこい祭りや夏祭り、いろんなアイデアを出してやってきました。失敗あり、いつも反省しかり。頼まれもしないことをやらなくてもいいと言われることもありました。自分で考え行動し、結果がどうなるか、そんなことが好きだからやっています。

いきいき事業からの展開

～健康長寿を目指して・朝霞膝折団地の歩み～

朝霞市でも健康長寿を目指すプロジェクト(団地まるごといきいき事業)が始まりました。私も健康教室に参加させていただきました。市にも色々と支援してもらい、いろんな事業ができました。団地のスローガン「めざせ日本一!!健康長寿膝折団地」も作りました。反対にも遭いましたが、今でもスローガンを掲げています。

集まって何かやろうと『黒目の太陽』が始まりました。15年やって、休止して。また皆さんのご協力で『黒目の太陽パート2』をはじめることができました。(裏面のサロン紹介参照)

男性は女性と違いなかなか集まりには参加してくれません。飲み屋なんかだとぱっと話ができるのに、住まう範囲の中では自分をさらけ出すことができない。男性は男性で、何かできればいいなと考えて、持込み酒場を始めました。食事は持込みでカラオケ。飲みたい物も自分で。仲間意識が出ると、お土産買ってきたり、話が膨らんだり。(残念ながらコロナで休止となりました。)



2013年URの外壁修繕工事が完了し、同時期に埼玉県
の川のまるごと再生プロジェクトにより団地前の黒目川沿いに遊歩道が整備されました。



「あなたのふるさとどこですか？」～朝霞膝折団地が『ふるさと』に～

お祭りの時に「ふるさとはどこですか？」と尋ねたところ、「膝折団地」と答えてくれた住民がいました。「ふるさと」は田舎にあるというイメージだったので、意外に感じました。住んで良かったと思うと、そういう意識になるのかなと思いました。また、ある住民が私に自分の半生をまとめたものを見せてくれました。これにもヒントをもらいました。これまで団地は永住するところではなかったが、これからはそうではない。URの取り組みとしても、高齢者の受け入れを拒否していない。これから自分がここで生活していくことになった時に、どういうコミュニティにできるか。持込み酒場が再開できたら、男性たちとふるさとどこですかをやりたい。それぞれが辿った人生を話して、褒め合ったりして。今失われている人の優しさを取り戻していきたい。



日本の団地の歴史についても、昔の新聞記事をもとにお話ししていただきました。



いきいきサロン 黒目の太陽パート2

毎回20～25名と多くの住民の方が参加し、皆さんで楽しく過ごされています。サロンの内容としては、最初に体操、その後は各テーブルに分かれ、折り紙・トランプ・オセロと好きなことをしています。

体操ではサポーターの先生が来てくださり、座ってできる体操を行います。心も身体もリフレッシュでき、とても評判が良いです♪

いま人気があるのは折り紙だそうで、会話を楽しみながら小物入れなどを作っているようです。



基本的には団地にお住まいの方であれば参加は自由となっております、時間内いつでもお越しいただき、好きな時に帰ることができます。和気あいあいと楽しく過ごしますので、ぜひ皆さん立ち寄ってみてください♪



日時：毎月第3・第4月曜日 14:00～16:00
場所：朝霞膝折団地第1集会所（自治会協力）
費用：100円（飲み物・茶菓子付）／月（2回分）

～職員紹介～

地域の皆さまの多様な
ご相談に応じています



後列左から杉山、武笠、高木、玉城
前列左から中村、田畑、小南

編集後記

今回の『こすもす』は、私たちも日頃支援で関わることの多いUR都市機構・朝霞膝折団地の自治会長・倉林氏にインタビューしました。これまでの朝霞膝折団地の歩みから、現在までに至る自治会の取り組み、倉林会長の団地に対する思いなどをお伺いすることができました。

1面の記事の他、倉林会長は「個人情報のことで自治会でも両立が上手くいかない。亡くなったことを後から知ることも多い。隣近所の付き合いは、いつ何か起きたときに大事なんですけどね。」と、自治会運営の苦労もお話しくれました。また「人が最後死ぬ時くらいは、優しさが必要。介護の方には優しさを持ってもらいたい。」と我々を含め、介護業界に携わる者へのエールを送ってくださいました。

倉林会長、ご多忙の中ありがとうございました！一日も早く持込み酒場が再開し、男性同士の交流が深まることを期待しています！（小南）

♡ チェック

★朝光苑のホームページ www.choukouen.com/

（ホームページからのご相談もお受けしています）

★朝霞地区福祉会のInstagram www.instagram.com/asakachikufukushikai_official/

